

第17回三多摩研究集会開催決定！

日時：2005年2月27日（日）

場所：多摩大学（多摩市）

全体会講師も決定！

高橋ヨシエさん

（武蔵野市指導員・「三多摩指導員の会」会長）

分科会は11～12会場を予定（以下、案）

- ・子どもたちとの関係づくり
- ・子どもの安全をどう守るか
- ・民間委託と指定管理者制度
- ・学童保育の設置・運営基準づくり
- ・障害児を含めた生活づくり

e t c

●今年度の三多摩研究集会は、三多摩連協と多摩市連協との共催で、多摩大学で開催できることになりました。前回は三百人を超える参加者がありました。今回も、三百人を目標に取り組みを進めています。

●全体会講師は、高橋ヨシエさんに決定。高橋さんは、武蔵野市で二十六年間にわたり指導員をしてきました。今年度いっぱい定年退職となります。

これまで全国指導員学校をはじめ、全国各地（北は北海道、西は鳥取）の連絡協議会主催の学習会や、指導員会あるいは行政主催の研修会で講師をしてきました。

今回の全体講演は、二十六年間の指導員生活の、そして数十回に及ぶ講演の締め括りとなります。

「子どもをどう捉え、どう関わるか」「親と指導員が、子育てを通じて共に育ちあうには」「地域の中で学童保育が果たす役割とは」などなど、学童保育がこれまで大切にしてきたこと、これからもさらに大切にしていかなければならないことを、高橋さん自らの実践と経験に基づいて、具体的に話してもらおうことになっていきます。

「子どもも親も指導員も、みんなとても素敵なんだ」ときつと確信できると思います。やれ民間委託だ、やれ全児童対策への統合だなどと、学童保育を安上がりには済ませようとす自治体が増えていく今、学童保育の原点に立ち返り、私たち自身は何を大切にしていかなければならないかを、仲間と共に考えあうことが必要です。その絶好の機会と材料になること、間違いありません。是非、ご参加ください！

三多摩連協とは？

学童保育の全国規模の組織は一つしかなく、「全国学童保育連絡協議会」といいます。この全国連協は、三〇ほどの道府県の連絡協議会で構成されています。道府県には連絡協議会は一つしかありませんが、東京都は二十三区と多摩地域で財政のシステムが全く異なり、したがって運動の課題も異なるので、二十三区の連絡協議会は東京都連協に、多摩地域の連絡協議会は三多摩連協に結集しています。この二つの連協は、対等な関係で全国連協の構成団体となっています。

また、それぞれ独自に研究会や学習会、東京都への要請行動などをおこなっています。三多摩連協と東京都連協とが、東京都のすべての指導員団体に呼びかけて「東京の学童保育を充実させる連絡会」を結成しています。この団体を通じて、学習会や東京都への要請行動を一緒に行っています。

働く家庭の子育てに
よりよい学童保育づくりに

日本で唯一の専門誌！

「日本の学童ほいく」

全国学童保育連絡協議会発行

定価=330円（月刊）

ぜひ、ご購入を！

東京都への要請行動を実施！

十月七日、来年度予算編成に向け、都子育て支

援課と懇談。また、「地域支援計画」担当者とも

懇談。さらに、都議会各政党・会派を訪問。

まず要望書を作成

要請行動の前提として、三多摩連協の第一回と第二回の運営委員会を議論し、東京都知事宛ての要望書を作成して九月三日付けで提出しました。

要望書では、まず前文で、三多摩連協の調査(下の表を参照)に基づいた多摩地域の学童保育の現状を述べた上で、一、学童保育補助金の大幅増加。二、大規模学童保育所の解消。三、「全児童対策」と学童保育の違いの明確化。四、指導員の身分保障・労働条件の改善。五、障害児対策の充実。六、開所時間の延長。七、自治体間格差の解消。八、安全管理の充実。の八項目に渡る要望をまとめました。(要望書の全文は、

↑ **三多摩連協のホームページ** をご覧ください。)

子育て支援課と懇談

都子育て支援課からは課長、係長、学童保育担当係、計三名が出席されました。

要望書に対しては、法制化以降の東京都の立場(実施主体は区市町村なので、指導権限はない)が繰り返し返され、「ゼロ回答」という

べきものに終わりました。

ですが、課長がこの八月に新しく赴任してきたばかりで、現場の実態が知りたいということ、
「なぜ大規模化するのか」「全児童対策についてはどう考えているか」等の質問がありました。これらの質問に対し、三多摩連協の調査を示し、各市の具体的な状況を伝えました。また、自治体間の保育内容の格差や、障害児の状況なども伝えました。

「地域支援計画」担当者と懇談

東京都は「行動計画」と言わずに「地域支援計画」と言います。担当者に、区市町村の数値目標の状況、都としての数値目標設定や「策定検討懇談会」の今後の見通しについてお聞きしました。今年中に数値目標を示して、パブリックコメントを広く求め、来年二月の最後の「策定検討懇談会」での検討の後、今年度中に計画策定の見通しとのことでした。

各政党・会派を訪問

現在十ある都議会の政党・会派をアポなしで訪問し、要望書を届けました。日本共産党のみ、挨拶程度ですが懇談することができました。時間をとった懇談のお申し

出をいただきました。

三多摩各市町の学童保育の状況

2004.6.1 現在

市名	学校数	学童数	入所児童数			1学童平均	04年度障害児	04年度待機児	指導員総数
			02年度	03年度	04年度				
八王子市(公設) (自主)	総数	46	2977	2374	2760	60.0	53	58	市正規 29、社協正規 85、非常勤 33
	69	15		854	732	48.8	15	0	常勤 39、非常勤 6、臨時 18
立川市	20	23	1072	1122	1178	51.2	23	165	(公)嘱託 69、(民)6
武蔵野市	12	12	606	607	581	48.4	4	6	嘱託 31
三鷹市	15	19	872	959	1005	52.9	12	14	社協正規 52、嘱託 6
青梅市	16	17	834	898	979	57.6	10	103	社協正規 42、臨時 1
府中市	22	22	1462	1524	1642	74.6	53	0	正規 22、嘱託 31、臨時登録 93
昭島市	15	15	701	771	792	52.8	10	130	嘱託 36、臨時 41
調布市	20	16	914	942	1030	64.4	28	44	正規 24、嘱託 14、臨時 44
町田市	39	32	1472	1617	1843	57.6	83	57	(公)正規 18、嘱託 21
小金井市	9	9	574	565	538	59.8	9	1	正規 20、嘱託 13、臨時 5
小平市	19	23	928	924	1007	43.8	20	3	嘱託 47
日野市	19	21	1015	1118	1240	59.0	28	0	正規 23、嘱託 53、臨時 58
東村山	15	16	913	946	985	61.6	35	20	正規 34、嘱託 24
国分寺市	10	10	488	504	542	54.2	16	0	正規 13、嘱託 12、臨時 50
国立市	8	7	480	524	543	77.6	11	0	正規 7、嘱託 26
西東京市	19	25	1147	1202	1331	53.2	50	23	嘱託 77、臨時 78
福生市	7	8	405	404	407	50.9	9	66	社協正規 12、嘱託 24
狛江市	7	10	331	352	366	36.6	17	11	(公)正規 15、嘱託 2、臨時 1
東大和市	10	10	448	467	502	50.2	10	51	嘱託 20
清瀬市	9	9	516	559	577	64.1	9	32	正規 10、嘱託 8、臨時 18、
東久留米市	15	15	738	754	771	51.4	14	1	正規 8、嘱託 63、臨時 11
武蔵村山市	9	8	327	407	430	53.8	7	10	正規 10、嘱託 29、臨時 1
多摩市	21	17	1014	1059	1089	64.1	50	20	正規 34、嘱託 56、臨時 29
稲城市	11	11	449	464	512	46.5	11	21	正規 10、嘱託 8、臨時登録 60
羽村市	7	8	404	411	431	53.9	6	19	嘱託 28
あきる野市	12	10	470	475	492	49.2	10	172	嘱託 36
瑞穂町	5	5	200	236	268	53.6	5	21	嘱託 12、臨時 16
日の出町	3	3	106	122	115	38.3	0	0	嘱託 6
奥多摩町	2	2	64	65	55	27.5	0	0	嘱託 6
合計	445	444	21927	23226	24743	55.7	608	1048	

2001年度	459	421	20870
2002年度	452	428	21927
2003年度	449	439	23226

※待機児童が 1000 名を超えました。
※1学童平均の児童数は、2001年度に比べると6人増加しています。